

近年、集中豪雨や干ばつ、異常高温など、気象変動が私たちの生活に大きな影響を及ぼしており、農作物にも甚大な被害が発生している。この気象状況の中で、良質な米を

# 未来を開く

青森産技センター報告

—32—

安定的に生産するには、水稻の生育に応じたきめ細かな栽培管理が必要となる。このためには、常に生育状況を把握

## 水稻の生育状況

# 平均気温推移で予測

農林総合研究所は2002年度から、ICT（情報通信技術）を活用した水稻の生育予測システムの構築に取り組んできた。05年度から運用し、現在のシステムは10年度から稼働している。田植え日以降の日平均気温の推移から、栽培管理のポイントとなる生育時期を予測し、その予測情報をインターネット上で提供。その予測誤差は2〜3日程度で、十分な実用性を備えている。予測システムは青森県農業

## ICT活用、管理を徹底

しなければならぬが、生産者が逐一圃場を見回り、確認「アップルネット」内で運用。「詳細条件の指定」で、自身の出穂期、刈り取り時期などを明示。追肥が早すぎると倒伏しやすくなり、遅すぎると玄米タンパクが高くなり、食味を損ねる恐れがある。入力日を起点とした予測が行われるので、追肥のタイミングをはじめ栽培管理の徹底が図られる。

**詳細条件指定**  
生育診断を行う条件を入力してください  
(農家の地域・地点を選択してください)

地域: 青森地域  
地点: 青森市 緑地  
品種名: まっしぐら  
移植日: 5/19

【必須入力項目】  
地域、地点、品種、移植日

【任意入力項目】  
幼穂形成期、出穂期(実測値)  
入力することで、各実測値から  
計算された予測値が得られる

「予測の実施」をクリックすると条件指定画面が表示される

「予測実行」をクリックすると予測情報が表示される

**診断結果**

地点	品種名	移植日	移植箇の葉数	穂首分化期	幼穂形成期	冷害危険期 葉耳開長	刈取時期
青森市 緑地	まっしぐら	5/19	3.3	7/6	7/14	-12cm +4cm	出穂期 始期 終期 960℃ 1200℃

水稻生育予測の条件設定画面と予測結果画面

みなさまの食卓に届けられるおいしい米には、生産者の細心の注意と最善の技術が込められている。予測システムがその一助となれば幸いである。  
(農林総合研究所作物部 木村利行)

東奥日報 平成28年11月18日掲載

この記事は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。